

びんリユースに関する全国の状況

九州地方環境事務所
廃棄物・リサイクル対策課

1. びんリユースを取り巻く全国動向

(1) 国の動向

■環境省「びんリユースシステムの在り方に関する検討会」

【背景】

- びんリユースは天然資源の消費抑制・CO₂ 排出抑制につながり、循環基本法においてもリユースはリサイクルより上位に位置づけ
- 一方現状ではびんの使用量は衰退傾向にあり、びんリユースシステム自体が存亡の危機
- 既存するびんリユースシステムの基盤を維持強化するとともに、新たな仕組みのびんリユースシステムを構築するための取組が必要



○平成 23 年 2 月から計 6 回に渡る検討会（関係者からのヒアリング等）を経て 11 月に取りまとめ

- a.飲料製造工程
- b.流通・消費・回収工程
- c.飲料製造工程と流通・消費・回収工程の共通事項

■びんリユース実証モデル事業実施（平成 23 年 9 月～）

(2) 事業者・関係団体の動向

■「びんリユース推進全国協議会」の設立（平成 23 年 9 月設立）

(3) 消費者から実践する取組事例

- 居酒屋・飲食店からのびんリユースの取組
- 酒販店からのびんリユースの取組
- 地域でのびんリユースの取組

2. 九州地域におけるびんリユースのこれまでの取組

- (1) 環境省「循環型社会形成実証事業（エコ・コミュニティ事業）」平成 15 年～16 年
- (2) 経済産業省九州経済産業局の実態調査（平成 20 年度）
- (3) 九州地方環境事務所・九州経済産業局の連携事業（平成 21 年度～）
 - 鹿児島「焼酎リユースびん推進会議」の開催
 - 消費者への普及啓発（リユースびんシンポと展示会）+奄美エコマネー支援
- (4) 環境省モデル事業→びんリユースシステム構築に向けた実証事業（平成 23 年 9 月～）
 - 九州硝子壺商組合内 R びん推進九州プロジェクト（福岡地区）